

～授業改善推進プラン～

令和5年度

多摩市立大松台小学校

学校教育目標

人間尊重の精神を基調とし、豊かな感性をはぐくみ、生涯にわたって自ら学び続ける態度と能力の基礎を培う教育を推進するため、次の教育目標を設定する。

- すすんで学ぶ子 自ら学び、考え、課題を追究する子
- ◎思いやりのある子 かかわり合いの中で感じ、認め、共に生きる子【本年度の重点目標】
- たかましい子 自分のことを知り、前向きに粘り強く行動する子

学校経営計画(学力向上にかかわる要点)

- ①授業時数の確保と1時間1時間の授業の充実
- ②学習目標の明確化→見通し→学び合い→振り返り
- ③主体的問題解決能力の育成
- ④ESD・SDGsの視点に立った教育の充実
- ⑤地域の自然環境や人的環境を生かした体験的な活動
- ⑥個に応じた指導の充実(わかば教室の教員との交流・連携による特別支援教育の充実)

児童の実態(強み)

- 学習や課題に落ち着いて真面目に取り組む。
- 学習した基礎的な内容が身に付いている児童が多い。
- 自分の興味・関心のある内容について意欲

児童の実態(課題点)

- △粘り強く最後までやり遂げる力が弱い。
- △自信がないことで主体的に学習に取り組むことに課題がある。
- △既習事項を生かして、身に付けた基礎的・基本的な技能を活用し、表現する力を伸ばしていく必要がある。
- △令和5年度「全国学力・学習状況調査」及び「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果から、課題の解

本校の授業改善に向けた視点

- (1)教育課程編成の工夫
 - 各教科・領域の年間指導計画の検証・修正
 - 週ごとの指導計画に基づいた計画的な指導
 - 特色ある教育活動の充実
- (2)指導内容・方法の工夫
 - 指導と評価の一体化を図り、個に応じたきめ細かな指導法の工夫
 - 少人数指導における指導方法、指導体制の工夫
 - 教材、教具、東京ベーシックドリル、教育機器(アプリ版ベーシックドリル・ミライシード)の効果的な活用と開発
 - 体験的・問題解決的な学習活動の展開
 - 一人一台の端末を活用した、個別学習及び交流活動の充実
 - 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学級指導の充実
 - 家庭学習(学習習慣確立)に向けた家庭への啓発
- (3)評価の工夫
 - 評価規準、評価基準の作成及び活用と評価の一体化
 - 週ごとの指導計画の実施と評価
 - 保護者評価・内部評価・児童アンケートの活用
 - 各教科の授業改善推進プランの成果検証
- (4)校内における研究・研修の工夫
 - 授業を通しての実践研究による指導の充実と改善
 - 課題解決力・関わり合いの中で伸びる児童の育成
 - 教育情報の収集と各種研究会への参加
 - 若手研修会を通じたOJT研修

各教科の授業改善策

国語	社会	算数	理科
<p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読むことにおいて、目的を意識して、中心となる語や文を見つけてことができる。 ・読むことにおいて、文章を読んで感じたことを共有し、一人一人の感じ方の違いに気付き、自分考えを広げることができる。 <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手や場面に応じて言葉を選んだり、適切に使い分けたりすることができる。 ・意味や性質、役割による語句のまとまりがあることを理解し、該当学年の漢字を読んだり、前学年の漢字を書いたりして日常的に漢字を使うことができる。 	<p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことを選択・判断したことを適切に表現したりすることができるようにする。 <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な資料や調査活動を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けることができるようにする。 	<p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 二つの数量の関係などに着目して捉え、根拠をもとに自分なりの考えを発信する。 <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物の形の名前や図形を構成する要素に注目して、性質を理解する。 ・定規・三角定規・コンパス等の用具等を適切に使用することができる。 	<p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学年の視点に立って、問題解決のための力を身に付けられるようにする。(3年:問題を見出す力、4年:根拠のある予想・仮説を発想する力、5年:解決の方法を発想する力、6年:より妥当な考えを作り出す力)。 <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象について、問題を見出し、予想・仮説を立て、解決することを通して、基礎的・基本的な知識・技能を身に付けられるようにする。